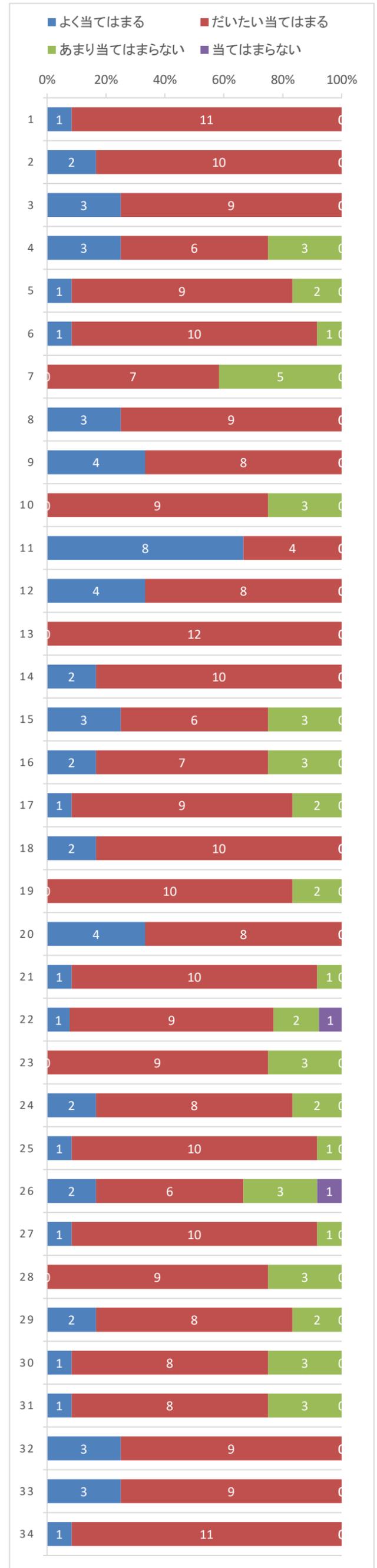


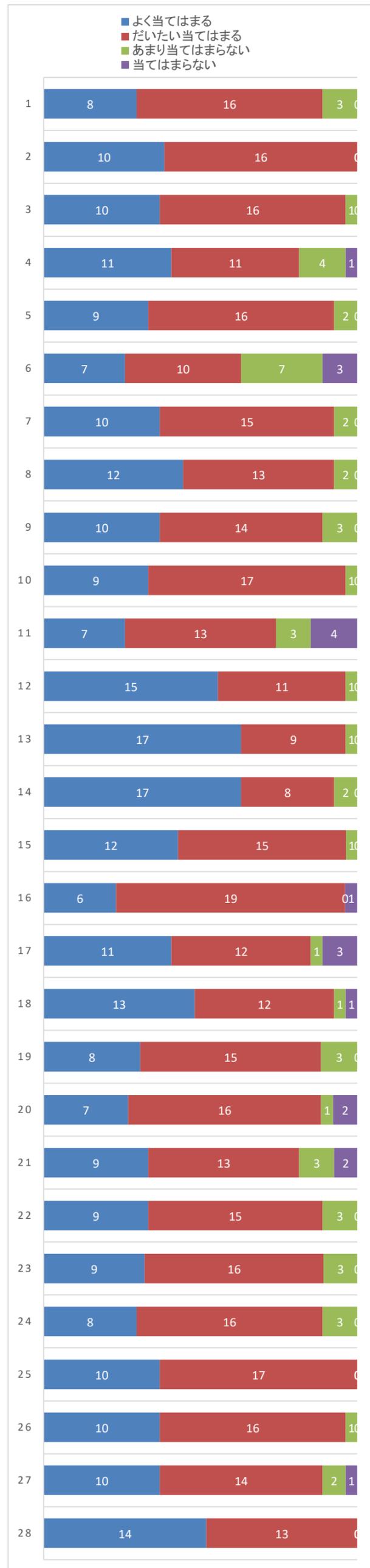
A 学校評価(教職員用)

分野	No	内容
教育課程 教科指導	1	生徒の理解度に合わせた、納得のいく教科指導ができています。
	2	教科指導に関しては、より望ましい指導に向けて絶えず工夫改善をしている。
	3	教科指導については、自分自身の目標を持ち、具体的な計画を立てて実行している。
	4	毎日の授業実践に関して、方法や展開に不足や不満を感じ、研修の必要を感じている。
進路指導	5	本校では、進路全般にわたって生徒に必要な情報を提供している。
	6	本校では、進路目標の明確化に向けた適切な指導を行っている。
生徒指導 生徒理解	7	本校では、生徒指導上のしつけやマナーの教育が行き届いている。
	8	本校では、家庭と連絡を密にし、相談に応じている。
	9	本校では、面接を行い生徒の悩みや相談に応じている。
	10	本校では、生徒の生活状況や交遊関係を一人ひとりについてしっかり把握している。
給食指導 栄養指導	11	本校は、行事食や郷土料理など特色ある給食を提供している。
	12	本校は、様々な食に関する指導を積極的に行っている。
HR・行事 友人関係	13	HR活動では、経営目標を設定し、具体的な計画を立てて実施している。
	14	学年経営やHR活動が充実し、積極的に教育活動に取り組むことができている。
部活動	15	本校では教員が部活動に積極的に参加(指導)している。
施設設備	16	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。
	17	施設・設備を運営する組織体制は整っており、教職員の責任分担も明確である。
開かれた 学校 地域連携 その他	18	本校では、学校評議員制度の活用、学校公開、外部講師の活用、地域への広報活動など開かれた学校づくりのために十分努力している。
	19	教職員として、学校の教育活動に積極的に参加しており、毎日が充実している。
教育目標	20	教育課程についての編成意図や教育目標を理解し、自分なりに実践している。
	21	本校では優先されなければならない課題に着手されていると思う。
組織運営 校務分掌 評価 システム など	22	関連する仕事をしている他の人との仕事上の調整がうまくいっていると思う。
	23	意思決定は、トップダウンではなく、ボトムアップの決定が多く満足している。
	24	自分の仕事やポストについて満足しており、仕事にやりがいを感じている。
	25	自分は仕事を遂行するのに必要な意志や能力が十分備わっている。
	26	本校では、業務が適切に分担化されている。
	27	本校では、業務が効率よく遂行されている。
	28	本校では管理職の指導力は十分に発揮されていると思う。
	29	他の部門(学年・教科・分掌)からの要望などには関心を持ち、すばやく対応していると思う。
	30	本校では教職員の健康や仕事量、置かれた状況等に対する配慮がなされていると思う。
	31	本校では意見を率直に述べられるような雰囲気があると思う。
研究・研 修	32	自分なりに目標を持ち、計画的に研修や研究に取り組んでいる。
	33	毎日の教育実践について、現状に満足することなく創意・工夫・改善に取り組んでいる。
	34	校外の研究会や教育関係以外の趣味や教養を通して、人間的な幅を広げることができていて、教職員として生活が充実している。



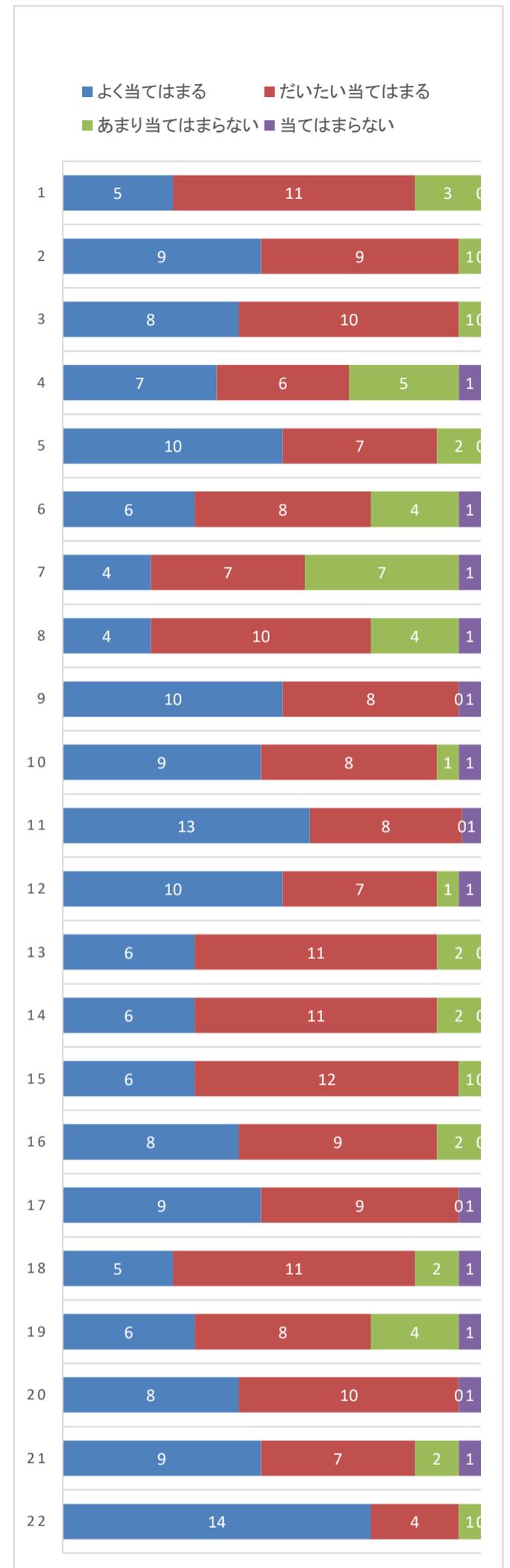
B 学校評価(生徒用)

分野	No	内容
教育課程 教科指導	1	授業はよく理解できている。
	2	授業で分からないことは納得するまで指導してくれている。
	3	生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。
	4	総合的な探究の時間は、自分にとって充実している時間である。
	5	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程(時間割)が編成・実施されている。
	6	自分は学習に積極的に取り組んでいる。
進路指導	7	進学や就職など、進路に関する情報は十分提供されている。
	8	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。
生徒指導	9	生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。
	10	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。
	11	自分は礼儀やマナーを守っている。
生徒理解	12	生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています。
	13	担任、副担任は一人ひとりの生徒を理解し、親身になって考えている。
給食指導 栄養指導	14	学校は、行事食や郷土料理など特色のある給食を提供している。
	15	学校は、様々な食に関する指導を積極的に行っている。
HR・行事 友人関係	16	自分のクラスのホームルーム活動は活発でまとまりがある。
	17	文化祭や体育大会等の学校行事に積極的に参加し、取り組んでいる。
	18	自分をよい方向に導いてくれる友人が学校内にいる。
特別活動 部活動	19	学校として、生徒会活動は活発に行われている。
	20	学校として、部活動は活発に行われている。
	21	自分にとって、有意義な学校行事がある。
施設設備 清掃	22	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。
	23	私は校舎内外をきれいにし、施設設備を大事に使っている。
開かれた 学校 地域連携 その他	24	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。
	25	生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。
	26	保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。
	27	自分にとって、学校生活は充実している。
	28	学校は、ボランティアやインターンシップ(就労体験)、専門学校等での体験学習等、様々な学びの場を生徒に対して提供している。



C 学校評価(保護者用)

分野	No	内容
教育課程 教科指導	1	生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。
	2	先生方は、生徒が分かるまで丁寧に指導してくれている。
	3	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程(時間割)が編成・実施されている。
進路指導	4	進路に対する情報は家庭に十分に提供されている。
	5	生徒の進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。
生徒指導	6	生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。
	7	学校として、いじめ問題に対する取組方針が保護者と共有されている。
	8	家庭でのしつけやマナーの教育を十分している。
生徒理解	9	生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています。
	10	学校は、生徒のよさを見つけて、それを伸ばそうと積極的に取り組んでいる。
給食指導 栄養指導	11	学校は、行事食や郷土料理など特色のある給食を提供している。
	12	学校は、様々な食に関する指導を積極的に行っている。
HR・行事 部活動	13	学校として、生徒会活動は活発に行われている。
	14	学校として、部活動は活発に行われている。
	15	生徒にとって、有意義な学校行事がある。
施設設備 清掃	16	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。
	17	清掃が行き届いていて、校舎は衛生的に管理されている。
開かれた 学校 地域連携 その他	18	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。
	19	保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。
	20	保護者に対して、学校便りやHPなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。
	21	生徒の学校生活は充実している。
	22	学校は、ボランティアやインターンシップ(就労体験)、専門学校等での体験学習等、様々な学びの場を生徒に対して提供している。



令和6年度 第1回 学校評価 結果と分析

気仙沼高校定時制

1 実施日及び回収率

○実施日 全ての調査期間を9月5日～9月13日とした。

○回収率

- ・ A 教職員調査 回答数12人／全教職員12人（常勤のみ）（回収率100％）
- ・ B 生徒調査 回答数27人／全生徒数28人 （回収率96.4％）
- ・ C 保護者調査 回答数19人／全世帯数26人 （回収率73.0％）

2 アンケートの概要

例年と同様、県教委主催の学校評価等研修会の内容を踏まえて内容を精査し、本校が目指す教育目標・計画に基づいて展開する教育活動について、校内評価及び外部評価により問題点の早期発見と早期改善を図るとともに、今後の教育計画の更なる充実を図るため、第1回学校評価を実施した。8月21日に学校評価委員会を開催し、8月22日開催の定例職員会議において全教職員で審議・検討した結果、昨年度実施した内容をベースとして、わかりやすく回答しやすい内容に質問を改善・精選して学校評価アンケートを実施した。昨年度と同様に電子データと紙媒体でアンケートを実施したが、多くは紙媒体での提出となっている。（電子データ回答23／全回答数58）

3 分析と考察

質問事項を変更したため、一概に前年度と比較することは難しいが、令和5年度の第2回学校評価の結果と比較を行い、各評価項目において肯定的な評価が増加した項目と肯定的な評価の割合が減少した項目について分析を行った。

(1) 教職員

全体的な傾向として昨年度よりも多くの項目において厳しい評価となっており、各項目の平均は横ばい、または肯定的な割合が減少傾向となっている。昨年度と比較して肯定的な評価となったのは「17 施設設備を運営する組織体制」である。今年度は清掃分担区と安全点検に関連を持たせ、定期的に安全点検を実施したことが影響しているものと思われる。「教育課程・教科指導」の分野でも緩やかに肯定的な割合が増加しており、教科指導に関する日々の工夫改善や研修への意欲が表れたものと考えられる。

今後の課題としては、「礼儀やマナーの教育」、「組織運営・校務分掌」「研究・研修」の分野で肯定的な評価が減少しているため、学校生活全体を通じて「礼儀やマナーの教育」に取り組むこと、校務運営や業務分担の改善、研究や研修の充実が必要と考えられる。

(2) 生徒

全体的に昨年度とほぼ同程度の評価となっている。評価の平均が大きく伸びているのは、「4 総合的な探究の時間は自分にとって充実している時間である」「18 自分を良い方向に導いてくれる友人が学校内にいる」となっており、授業の充実や生徒同士の人間関係が良好であることが伺われ、良い結果につながっている。

挨拶やマナーについては、「9 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている」は評価が高くなっているが、一方で「11 自分は礼儀やマナーを守っている」では、評価は昨年度と同様となっている。前項の教職員の評価でも「礼儀やマナーの教育」が課題となっていることから、指導は行っているが生徒に定着するまでの難しさがあると考えられる。

また、「17 文化祭や体育大会等の学校行事に積極的に参加し、取り組んでいる」が減少していることから、他者との関わりが難しい本校の生徒にとって、学校行事は大きなハードルであることが再認識された。学校行事の在り方が今後の課題と考えられる。

(3) 保護者

全体的な傾向として昨年度とほぼ同様の結果となっており、各項目の平均は横ばい、または肯定的な割合が減少傾向となっているものの、概ね好意的な評価となっている。また、自由記述から学校と家庭の間で良好な関係がわかる記述が多く、先生方の日々の働きかけが好意的な評価につながっていると思われる。

中でも給食の評価は高くなっており、行事食や郷土料理などの特色ある給食や、栄養面でのバランスのとれた給食を提供していることが高評価につながっている。

「7 いじめ問題」や「6 挨拶やマナー」「8 家庭での礼儀やマナー」については、昨年度の第2回学校評価でも課題となっていることから、今後、保護者と情報を共有しながら指導を進めていくことが必要である。